



六中だより

文京区立第六中学校 校長 小椋 孝

<http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/dairoku-jh/>

【教育目標】 ○責任を重んじる ○学習に励む ○健康なからだをつくる ○美しい生活を求める

1年間のご理解、ご協力、そしてご支援に心から感謝を申し上げます

感染症の影響により、年間を通して制限、制約の多い1年間でしたが、生徒の皆さんはこのような中だからこそ「集団の学び」を大事にして、仲良く、穏やかに学校生活を送ることができたととらえています。この1年間、私たち教職員が子どもたちと向き合い、教育活動に専念することができたのも、保護者の皆様の温かいご理解、ご協力、そして地域の皆様のご支援があってこそ成し得ることができたものです。心から感謝を申し上げます。

以下に3月18日（金）に挙行了しました卒業式の式辞や代表生徒のことば、祝辞を掲載しましたので、ご一読いただければ幸甚に存じます。

令和3年度 卒業式 「校長式辞」

季節が後戻りしたような肌寒い日となりましたが、これも「三寒四温」という春に向かう時期特有のもの、前向きにとらえることができます。何より、「まん延防止等重点措置」の適用が解除されるというニュースが届き、晴れやかな気持ちで春を迎えることができるこの佳き日に、文京区立第六中学校「第73回卒業式」を挙行できることを、とてもうれしく感じます。残念ながら、1・2年生は、アリーナでの参列が叶いませんでしたが、それぞれの教室からオンラインで、心を一つにして卒業生の門出をお祝いしてくれています。

私は、皆さんと一緒に六中に赴任し、この3年間を過ごしてきました。今でも鮮明に記憶しているのが、1年八ヶ岳移動教室の夜のミーティングの場面です。リーダーの役割を担った皆さんが、「みんなが仲良く、楽しく過ごすためにはどう行動すべきか」を真剣に考え、熱心に討論する姿を見て、3年後の成長の姿に、大きな期待を抱いたことを覚えています。しかしながら、皆さんが1年生の学年末考査の翌日から、感染症の影響による臨時休校が決まり、それ以降、制限や制約の多い生活が続くようになりました。振り返れば、つらい日々もあったことでしょう。そのような中でも皆さんは、学年の生徒と先生が一丸となって、「集団の学び」の中で「協力・信頼・団結」の力をていねいに耕し、磨いてきました。

こうして迎えた最高学年では、運動会の工夫を凝らした学年種目、全員リレー、そして学年全員によるダンス、また学習発表会の縦割りクラスによる交流に代表されるように、今まで当たり前のようにやってきたことができなくなった中でも、これからの六中の新たなスタンダードとなる創意工夫、自主創造の姿を見せてくれました。また何より、日々の学校生活において、最高学年としての力を遺憾なく発揮し、立派に六中の最上級生として、後輩の模範、そしてあこがれの存在となる姿を見せてくれました。

機械化、自動化、グローバル化が急激に進展するこれからの時代において、課題を解決するためには、仲間と協力すること、一つの目標に向かって団結すること、それぞれが目標達成のためにできることに取り組み、その役割をしっかりと果たすことなどが求められます。皆さんは、制限や制約の多い中でも、決してあきらめることなく、一丸となって素晴らしい成果を上げてきました。みんなが思いやりをもって助け合っていく中で、互いに協力して認め合い、信頼して支え合い、団結してさらに高め合っていくという営みは、将来にわたって通用する「生きて働く力」の基盤となるものだと思っています。

皆さんの成長した立派な姿は、3年間の学校生活において、しっかりと耕し、積み上げてきたものが見事に結実したものととらえています。皆さんが、今まで以上に光り輝かせてくれた六中の伝統と誇りは、皆さんの背中を見て、そのひたむきな努力と絆の強さを目の当たりにしてきた在校生諸君が立派に継承し、脈々と受け継いでいってくれるものと期待しています。

さて、皆さんには朝礼などで、いろいろな話をさせていただきましたが、今日の旅立ちの日に際し、この言葉を贈りたいと思います。「力・必・達（つとむれば かならず たっす）」

皆さんが1年生のときにも一度紹介した記憶がありますが、これは、講道館柔道の創始者であり、日本初の国際オリンピック委員会委員である嘉納治五郎師範のことばで、「目的に向かって努力を続ければ、必ず達成できる」また、「目標をもって挑戦し、あきらめずに努力を続ければ、必ず成し遂げることができる」という意味だととらえられています。私は、中学校で入部した柔道部の顧問の先生からこの言葉を教えていただきましたが、正直な

ところ、自分には無理だと感じました。小学校から柔道をやっていた同級生が10人以上いる中で、素人から始めた自分が強くなれるわけがない、と思ったのです。実際、一生懸命頑張ってはみたものの、大会に出られる正選手五人には入ることができず、六番目の補欠として都大会などの公式戦には一度も出場することができませんでした。でも、高校に入ったら中学校からの経験者は少なく、都大会に出れば一・二回戦で負けてしまう学校でしたが、中学校とは逆の立場となって、2年生の終わりにはキャプテンを任じられ、この経験が、教師を志望する動機となりました。

今、振り返ってみれば、私はこの言葉を「目標をもって努力すれば、そのときはかなわなくても、自分を一つ上のステージに高めてくれる」というように解釈しています。試練に立ち向かったとき、必ずしも良い結果が出るとは限りません。皆さんの中にも日々の生活や受験という試練の中で、思い通りにいかなかった経験をしている人もいます。しかしながら、皆さんが力を注いだ努力は、その度合いに応じて、皆さんの力をしっかりと耕し、自分自身を高めてくれるはずです。新たなステージでその努力が花開くことを信じ、さらに自ら耕しを続けていくことを願っています。

本日、旅立ちのときを迎え、寂しさも感じるころですが、皆さんが未来へはばたき、成長していくという期待感、それを大きく上回るものです。六中における3年間の学校生活を通して、かけがえのない仲間と共に培ったこの素晴らしい財産を、次のステージでも存分に発揮することを切に願っています。

保護者の皆様、厳しい社会情勢の中でも、私たち教職員が子どもたちと向き合い、教育活動に専念できたのは、皆様の全面的なご理解、ご協力があったからこそ成し得ることができたものです。

本当にありがとうございました。心から感謝を申し上げたいと存じます。

結びに、輝く未来に向けて、常に学ぶ姿勢と健やかな心を持ち、自己実現を目指してたくましく、しなやかに生きていくこと、そして未来の創り手として大きく成長することを心から祈念し、式辞といたします。

令和4年3月18日

文京区立第六中学校長

小椋 孝

令和3年度 卒業式 「在校生のことば」

冬の寒さも和らぎ、徐々に暖かさが感じられ、春の日差しがきらめく頃となりました。3年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝いを申し上げます。

今まで、3年生の先輩方は、私たち1・2年生に六中生として、何事にも全力で取り組み、常に真剣に、そして仲間と協力し合う姿を示してくださいました。特に行事では、いつも私たちに大きな感動を与えてくれました。運動会では、全ての種目に真剣に取り組み、応援の声には人一倍熱意がこもっていました。また、受験激励会とあわせて実施した「六中全校ソーラン」では、先輩方の、大胆でキレのある動きや、力強く迫力のある大きな声は圧巻でした。最前列で踊っている先輩方を観て、「自分たちも、観ている人にもっと感動を与えられるように踊ろう！」と奮い立ちました。学習発表会では、協力することの大切さを教えていただきました。感染症対策で大変な中でも、縦割りクラスの歌を聴きに来て、様々なアドバイスを的確に与えてくださいました。クラス全体の合唱に対する意識を高め、六中全体で「史上最響」の歌声を響かせることができたのは、先輩方のおかげです。委員会や部活動では、私たち1・2年生が安心して参加できる雰囲気をつくってくださいました。

4月になれば、六中全体を支えてくださった先輩方がいない中で、私たちは不安や寂しさでいっぱいになるかもしれません。そのようなときでも、先輩方から引き継いだ、「六中をより良い学校にしたい」という思いを大切に、何事にも全力で取り組み、常に真剣に、仲間と協力し合いながら努力していきたいと思えます。そして、必ず、より活気にあふれた六中を創っていきます。

3年生の皆様は、これから進んで行く未来に対してどの様な思いを抱いていますか。漫画家として活動していた手塚治虫さんは、次のような言葉を残しています。「人を信じよ。しかし、その百倍も自らを信じよ。」

これから先、自分が進む道で、失敗してしまったり、希望をもてなかつたりすることがあるかもしれません。そんなときまた新しく一歩を踏み出すためには、まず自分のことを信じるのが大切です。六中にいた3年間で培った力を信じて、これから先の道も、自信をもって進んでください。

結びに、卒業生の皆様の進む道が、多くの喜びと希望に満ちあふれたものになることを願い、送る言葉とさせていただきます。

令和4年3月18日

在校生代表

後期生徒会長

令和3年度 卒業式 「卒業生のことば」

日々、景色が春の色に染まっていき、命が躍動する季節となりました。今日私たち106名は文京区立第六中学校を卒業します。本日は、私たちのために素晴らしい卒業式を挙げてくださり、誠にありがとうございます。先生方をはじめ、保護者の皆様に御臨席いただく中で卒業できることを、卒業生一同を代表し厚く御礼申し上げます。

思い起こせば3年前、私たちは期待と不安に胸を膨らませ、この文京区立第六中学校に入学しました。その時から今日まであっという間に時間が流れていきました。入学してすぐにあった運動会。先輩方の熱気にあふれる背中をみて感銘を受けたのと同時に自分達が六中生の一員になったのだと強く実感しました。9月、中学校に入って初めての宿泊行事である八ヶ岳移動教室。2日目の登山で、みんなで声を掛け合い登り切ったときの景色は今も鮮明に覚えています。1年生では様々な行事を通し、友人との仲を深めました。

そして、2年生。中堅学年として六中を牽引していく存在となり、心持ちも大きく変わりました。しかし、新型コロナウイルスの蔓延により様々な行事が中止になるなど、多くのことが制限されました。その中で、今自分たちにできることを考え、行動に移すことで様々な困難をも解決していきました。また、このような状況だから経験できたこともあります。その一つが文京シビックセンターで行った学習発表会です。今までに経験したことがないような大きなホールで奏でた一度きりのハーモニーは今でも忘れられません。

そして迎えた最高学年、3年生。今まで私たちを導いてくれた先輩は卒業し、これからは自分たちが学校を引っ張り、六中の伝統を繋いでいくのだと実感しました。先輩方から引き継いだ六中魂を全力でぶつけた運動会。仲間と共に最高の合唱を創り上げた学習発表会。そして、学年全員で力を合わせ挑んだ受験。この1年は3年間の中で最も濃密な1年でした。

この六中での3年間は、様々な方の支えや協力の上で成り立っていました。私達には心から感謝の気持ちを伝えたい方々があります。私たちが安心して生活できるよう、清掃や業務をしてくださった事務室や主事室の方々。毎日おいしい給食を作ってくださった栄養士さんや給食室の方々。日々私たちの見えないところで支えてくださりありがとうございました。そしてどれほど困難な状況下においても私たちの学び場を確保してくださった先生方。常に私たちに寄り添い、ここまで導いてくださったことに本当に感謝しています。在校生の皆さん、行事や部活動で共に楽しい時間を過ごさせてくれてありがとう。皆さんなら六中の伝統を引き継ぎ、そして発展させていけると確信しています。皆さんで六中をより一層盛り立てていってください。卒業生一同、応援しています。そして何より3年間を共に過ごしたみんな。楽しいこともつらいこともあったけれど、その度に支えてくれてありがとう。本当はみんなと別れたくない。もっとみんなと話したかった。もっとみんなと笑い合いたかった。この日常はもう戻ってこないけれど、私たちの絆が消えることはありません。仲間との思い出を胸にそれぞれの道を歩んでいきましょう。

そして15年間、一番近くで私たちを支え、育ててくれたお父さん、お母さん。今まで本当にありがとう。3年前に比べて少しは成長できたかな。これからは自分たちの未来を自らの手で掴んでいきます。私たちを信じて見守っててください。

私たちは今日、中学校を卒業し、新たなステージへのスタートを切ります。慣れ親しんだ母校や仲間と離れ新たな道へ進むことに、不安や緊張があります。しかし、それ以上に新しい出会いや生活に希望を抱いています。六中での仲間との学びや体験、思い出はこれから生きるうえで大きな力になると私たちは確信しています。この先も、努力を怠らず、一步ずつ力強く前に進んでいきます。

いよいよ、六中を旅立つ時が来ました。最後にたくさんの思い出をありがとう六中。

令和4年3月18日

卒業生代表 前期生徒会長
前後期学年委員長

令和3年度 卒業式 「お祝いのことば」 文京区長・文京区教育委員会

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今皆さんは、卒業証書を手にし、中学校の3年間を修了した満足感と、これから始まる新しい生活に対する大きな期待で胸がいっぱいのことと思います。保護者の皆様におかれましては、義務教育を修了し、立派に成長した子どもたちの姿をご覧になり、感慨深いものがあることと存じます。子どもたちのご卒業を、心よりお祝い申し上げます。

さて、皆さんの門出にあたり、昨年のNHK大河ドラマの主人公で、2024年には新1万円札の肖像となる渋沢栄一さんのお話をしたいと思います。渋沢栄一さんは、1840年、埼玉県深谷市の農家に生まれました。24歳で、後の第15代将軍徳川慶喜に仕え、27歳のときには、パリ万博使節団としてフランスへ渡り、西洋文化に触れて大きな感銘を受けました。帰国後は明治新政府に入り、大蔵省勤務を経て実業界へ転じ、日本初となる国立銀行を開業しました。それ以後も、様々な業種の会社を500社以上設立し、その多くが今でも日本の経済を支える大企業となっています。その功績から「近代日本経済の父」と呼ばれ、今なおその理念は受け継がれています。このように栄一さんは運に恵まれ、常に順境にあったと思われがちです。しかし栄一さん自身は、順境と逆境はその人の心がけと努力の結果によって作られると考えていました。すなわち、順調にあるように見える人は常に前向きな志をもち、絶えずまじめな努力を重ね、その結果として自分自身で順境をつかみ取っていると考えたのです。

そんな栄一さんの考えの根底にあったのが「論語」です。論語というのは、中国の孔子という思想家が、人の生きる道や考え方、道徳などについて記した書物です。論語の教えには、個人の利益だけではなく、集団や社会にその利益を還元すべきというものがあります。その教えを栄一さんは実践していました。事業で得た利益のほとんどを次の事業に投資することを繰り返していました。自分ひとりが利益を得て、自分ひとりがいい思いをすることを良しとしなかったのです。

この論語の教えに基づいた利益の追求は、今、世界が目指している持続可能な開発目標 SDGs の考え方にも通じるものがあります。私たち一人ひとりが自分のためだけではなく、常に他人や社会のことを考えるということは、結果的に世界全体のよりよい未来の創造につながるのです。

卒業生の皆さん。皆さんの未来は、大きく開かれ、可能性に満ちています。しかし、予測困難な時代にあっては様々な逆境があるかもしれません。そんな時は、栄一さんのように、努力を重ね、諦めずに立ち向かい、その逆境を乗り越えてください。そして、常に他人や社会のことを考えられる人になってください。

結びにあたり、卒業生を温かく見守り、3年間ご指導くださった校長先生をはじめ教職員の方々と、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りました保護者並びに地域の皆様に、心より感謝の意を表しますとともに、卒業生一人ひとりの前途に幸多いことをお祈りし、お祝いの言葉といたします。

令和4年3月18日

文京区長 成澤 廣修

文京区教育委員会

令和3年度 卒業式 「お祝いのことば」 文京区議会議員

皆さん、ご卒業おめでとうございます。晴れの卒業式にあたり、文京区議会を代表いたしまして、心からお祝いを申し上げます。

昨年の夏は、東京でパラリンピック競技大会が開催され、記憶に残る熱戦が繰りひろげられました。個性や能力を自分たちらしく発揮する選手たちの活躍に目を奪われましたよね。今回のパラリンピック競技大会を契機に、われわれ一人ひとりが多様性への理解を深めていくことにつながっていったと思います。

さて私は、パラリンピックの三つの競技で、メダル授与式のプレゼンターを務めさせていただきました。金・銀・銅のメダルをのせたトレーを、選手の方々のもとに運ぶ任務です。事前の説明では「メダリストにはコングラチュレーションと、一言お願いします」と連絡があったのですが、メダリストの皆さんが全員「英語圏」出身の選手というわけではありませんよね。せっかくですから、英語だけではなくフランス語・中国語・ロシア語での「おめでとうございます」を確認しておきました。ちなみにフランス語では「フェリシタシオン」、中国語では「ゴンシー、ゴンシー」、ロシア語では「パズドラヴリャーユ」になります。その結果、フランスの選手からは「メルシー（フランス語でありがとう）」と、中国の選手からは「シエ、シエ（中国語でありがとう）」と笑顔で返事が戻ってきました。私が事前の準備をしようと思ったのは、このリアクションをイメージしていたからなのです。「リアクション」という言葉を語源から考えると「リ・アクション」であり、「反・作用」と訳すことができま

す。物理の「作用・反作用の法則」というのは「action-reaction law」になりますからね。「作用があればかならず反作用が生じており、その大きさは等しく方向が反対である」これが「作用・反作用の法則」です。そこで「リアクション」をこの「反作用」であると考え、「アクション」すなわち「行動」をおこす際に注意すべき点が見えてくると思います。相手に対して何らかの働きかけをする場合に気を配るべき点です。

物理の法則では相手に作用するのは目に見えない「力」になりますが、人間関係においては「相手に対する関心の度合い」が作用するのだ、と考えてみてください。相手に「無関心」のまま働きかけたとしても、返ってくるのは「無関係ですよ」というつれない対応になります。少しでも「あなたに関心があります」という態度で働きかければ、「私のことを見てくれている」という反応が返ってきます。メダル授与式の例でいうと「あなたがフランス人であるということを知っていますよ」という意味を込めて「フェリシタシオン」と声をかけると、「メルシー」という笑顔の返事が戻ってくるのです。相手がどんなリアクションをするのだろうか？と考えること自体が、相手に対して関心を払っているということになりますからね。

中学校を卒業し、これから新しい人間関係を構築していく皆さんに向けて、少しでもアドバイスになればとの願いを込めて、また新たな一歩を踏み出していく皆さんの人生が幸多きものになることへの願いも込めまして、私からのお祝いの言葉としたいと思います。

令和4年3月18日

文京区議会議長 田中 としかね

令和4年度 主な行事予定

1 学 期	2 学 期	3 学 期
<p>【4月】 6(水) 始業式 7(木) 入学式 9(土) 土曜授業公開、保護者会 22(金)～23(土) 2年防災宿泊体験 28(木) 離任式</p> <p>【5月】 1(日) 開校記念日 14(土) 土曜授業公開 18(水) 運動会予行 21(土) 運動会 23(月) 振替休業日</p> <p>【6月】 5(日)～7(火) 3年修学旅行 11(土) 土曜授業公開 セーフティ教室 22(水) 3年音楽鑑賞教室 28(火)～30(木) 期末考査</p> <p>【7月】 6(水)～ 8(金) 2年八ヶ岳移動教室 9(土) 土曜授業公開 20(水) 終業式 25(月)～29(金) 三者面談</p> <p>【8月】 23(火)～26(金) 区総合体育大会 29(月) 区連合音楽会</p>	<p>【9月】 1(木) 始業式、防災引渡し訓練 6(火) 2年演劇鑑賞教室 10(土) 土曜授業公開 オープンキャンパス 13(火)～15(木) 2年職場体験学習 14(水)～16(金) 1年八ヶ岳移動教室 26(月)・27(火) 中間考査 30(金) 全校英検</p> <p>【10月】 1(土) 都民の日 15(土) 土曜授業公開 オープンキャンパス 22(土) 学習発表会 24(月) 振替休業日</p> <p>【11月】 1(火)～8(火) 3年三者面談 12(土) 土曜授業公開 オープンキャンパス 道徳授業地区公開講座 16(水)～18(金) 期末考査</p> <p>【12月】 5(月)～12(月) 三者面談 10(土) 土曜授業公開 生涯学習講座 23(金) 終業式</p>	<p>【1月】 10(火) 始業式 15(土) 土曜授業公開 1・2年百人一首大会</p> <p>【2月】 3(金) 2年校外学習 21(火)・22(水)・24(金) 学年末考査</p> <p>【3月】 3(金) 2年TGG訪問 14(火) 卒業遠足 17(金) 卒業式予行 20(月) 卒業式 22(水) 1・2年保護者会 24(金) 修了式</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center;">この予定は、現時点のものであり、感染症の動向等によって変更になる場合がございます。 なお、変更の場合は、改めてお知らせします。</p> </div>

文部科学大臣メッセージ 中学生・高校生のみなさんへ～不安や悩みを話してみよう～

中学生・高校生のみなさんへ
～不安や悩みを話してみよう～

もうすぐ新年度を迎えます。受験等の進路の問題や、家庭内の問題、あるいは友人関係などで、不安や悩みを抱えている人はいませんか。

誰にでも悩みや不安はあります。悩みや不安を一人で抱え込まず、家族、先生、スクールカウンセラー、周りの友達、誰にでもいいからあなたの悩みを話してみませんか。必ずあなたの味方になってくれる人がいます。周りの人に相談しづらいときは、電話やメール、ネットで相談できる窓口もあります。気軽にあなたの悩みを話してみてください。人に相談することは決して恥ずかしいことではなく、社会で生きていく上で必要な大切なことです。

あなたの周りに元気がない友達がいたら、積極的に声をかけて、信頼できる大人につないでください。また、自分や友人が悩みや不安を抱えた時に相談できる機関として身近なところにどのようなところがあるのか調べてみてください。

電話やメール、ネット等の相談窓口**相談窓口の紹介動画**

（リンク先には警察、児童相談所等の相談窓口一覧もあります。）



<https://youtu.be/CiZTk8vB26I>

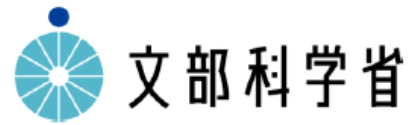


https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm



令和4年3月
文部科学大臣 末松 信介

文部科学大臣メッセージ 保護者や学校関係者等のみなさまへ



保護者や学校関係者等のみなさまへ

新年度には児童生徒等の環境が大きく変化することもあり、不安や悩みを抱える児童生徒等が増え、自殺者数が大きく増加する危険性があります。

- ・ これまでに関心のあった事柄に対して興味を失う
- ・ 成績が急に落ちる
- ・ 注意が集中できなくなる
- ・ 身だしなみを気にしなくなる
- ・ 健康管理や自己管理がおろそかになる
- ・ 不眠、食欲不振、体重減少などのさまざまな身体の不調を訴える

保護者や学校関係者、地域のみなさまにおかれましては、こうした子供の態度に現れる微妙なサインに注意を払っていただき、子供たちの不安や悩みの声に耳を傾けて適切に受け止めていただくとともに、学校、家庭、地域、警察や医療機関などの関係機関等で緊密な連携体制を築いていただきますようお願いいたします。

電話やメール、ネット等の相談窓口

（リンク先には学校や警察、児童相談所等の相談窓口一覧もあります。）

24時間子供SOSダイヤル (通話料無料)
0120-0-78310

いじめで困ったり、ともだちのことで不安や悩みがあったりしたら、一人で悩まず、いつでもすぐ電話で相談してください。



https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm

令和4年3月
文部科学大臣 末松 信介

「春休み用」 感染症対策チェックリスト

新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト【中学生・高校生用】

春休みも 感染症対策を続けよう



できていたら にチェック✓を入れましょう

- 毎日検温し、健康観察をしていますか？
発熱だけでなく、せき、のどの痛み、息苦しさ、だるさ等の症状があるときは、外出せず受診しましょう。



- 外出するときは、不織布マスクを着用していますか？
鼻出しマスク、あごマスクはNG！ [正しいマスクの着用方法はこちら](#) →



- 体調がすぐれないときは、外出しないようにしていますか？
体調がいつもと違うと感じるときは、無理せず自宅で過ごしましょう。

- 手洗い、手指消毒をしていますか？
帰宅時、食事の前後、共用物を触った後などは、手洗いや手指消毒を行いましょう。 [正しい手洗いの方法はこちら](#) →



- 屋内では換気を徹底していますか？
教室や体育館など、屋内で過ごす場合は必ず換気をしましょう。
家庭では、レンジフードによる換気も効果的です。 [換気の方法はこちら](#) →



- 家族以外と食事中会話をしている際は、マスクをしていますか？
食事中にマスクを外して会話をして、感染が広がった例があります。



- 飲み物やお菓子を、友達と回し飲み・回し食べしていませんか？
ペットボトルを回し飲みしたり、食事のときに箸を共用したりしないようにしましょう。

- 生徒同士の旅行や飲食をしたり、カラオケに行ったりしていませんか？
旅行や飲食、カラオケ等を介して感染が広がった例があります。春休み中も気を付けましょう。

保護者のみなさまへ

- 健康観察は、ご家族の方も実施し、体調がすぐれない人がいるときは外出を控えてください。
- 春休み明けに、お子様やご家族の体調がすぐれない場合は登校しないようにしてください。
- ワクチン接種を希望する場合は、お住まいの地域の接種相談窓口やホームページを確認して早めに接種しましょう。東京都の大規模接種会場でも、接種できます。 [情報や予約はこちら](#) →

